

先進的リスク評価： メールを中心とするデジタル・インサイト



リスク決定信頼のためのインテリジェンス

お客様はより多くのチャンネルを通じて貴社にアクセスすることを希望しています。そしてお客様は一貫性があり余分な手続きのいらぬユーザー体験を期待しています。一方、貴社は不正防止とシームレスなユーザー体験提供の間で板挟みになってしまうことがしばしばあります。

LexisNexis® Risk Solutionsでは、これは両立可能であると考えています。これがユーザーのメールアドレスを中心に据えたリスク評価ツールLexisNexis® Emailage®を提供する理由です。Emailage®は信頼可能なリスク評価を提供し、貴社の取引を迅速に承認し、常に進化を続ける不正の手口に効果的に対処できるようになります。

独自のアプローチ

Emailage® は特許取得済みの専用分析アプローチを駆使し、メールインテリジェンスをリスク特定の中核として活用することにより不正検出を再考します。

メールは固有のグローバルアイデンティティ – メールはソリューションの中心です。あらゆる場所、あらゆる業界において、デジタルエンゲージメントおよびデジタル取引におけるユニバーサルなカギになるからです。

ネットワーク効果 – 世界規模でのデジタルインサイトおよび共有された取引履歴により、当社のグローバルなネットワークは常に改善を続けており、信頼の高いリスク判断を提供します。当社ネットワークの59億件を超えるデジタルIDにより — Emailage のみが物理データ、デジタルデータおよび動的な不正シグナルを結びつけて、取引の背後にある真の人物像を把握できます。

アクティブ・インテリジェンス – 当社の技術は先進的な分析、機械学習、人工知能および実際の取引結果を統合します。

ベンチマーク統計¹

不正ヒット率平均

 **42%**

Emailageがハイリスクと特定し不正と判明した件数の割合

チャージバック削減率

 **41%**

不正によるチャージバックの平均削減率

手作業レビュー削減率

 **27%**

手作業レビュー作業量の平均減少率

承認改善率

 **16%**

拒絶した取引の平均減少率

メールおよびドメインの詳細ならびに個人特定情報(PII)のようなメタデータと併せて、全般的なリスクスコアおよび信頼スコアを返送することにより、Emailageはリスクベースの評価および不正低減戦略を支援する十分なデータを提供いたします。



Emailageの影響: 全幅の信頼をおける分析

Emailageでリスク評価プロセスを最適化して下さい。既存の不正防止技術スタックにシームレスに統合することにより効率化を実現し、以下のようなことに活用可能です:

- オンライン取引不正の特定および防止
- 顧客のメールアドレスに関するリスク測定
- 正規顧客の自動承認増加による売り上げの増大
- 効率的な手作業レビューによる意思決定の信頼性を向上
- 他のLexisNexisツールと併用して、全体的なリスク管理を補完

Emailageの特徴

Emailageは、デジタルインサイトを用いて、信頼できるリスク評価およびオンライン本人確認権限を付与します:

- 包括的なEメールリスクスコアおよび信頼度分析
- グローバルなネットワークデジタルインサイト
- 週次で更新される機械学習モデル
- ネットワーク、業界レベルおよび企業レベルでカスタマイズしたモデル

メールの振る舞いは正規ユーザーと不正ユーザーの見極めに有効

顧客趣向

 **65%**

コミュニケーション手段としてメールを好むリテール顧客の割合²

 **55%**

コミュニケーション手段としてメールを好むエンタメ顧客の割合²

継続性

 **91%**

同一のメールアドレスを3年以上利用するユーザーの割合³

 **51%**

同一のメールアドレスを10年以上継続するユーザーの割合³

アクセス

 **89%**

毎日メールをチェックする人の割合⁴

 **21%**

毎日5回以上メールをチェックする人の割合⁴

安定性

 **130**

メールアドレスに紐づけられた平均アカウント件数⁵

安全な取引環境を創出

どのようなビジネスでも—業界、地域または規模を問わず—不正事件に遭遇する可能性があります。当社は、顧客ライフサイクルの各ステージにおいてユーザー体験を改善しつつ、不正戦術が進化する環境下において世界中の企業が自信をもってリスク判断できるよう支援いたします。

以下のケースにお使い下さい:

新規アカウント登録

非対面取引(CN)

アカウント
メンテナンス

信頼と安全

リスク管理とビジネスの最大化

取引の背後にいるリスクに関連する人物を明確に把握して下さい、そうすれば意思決定ワークフローを自動化し、顧客体験を改善し、事業成長のイニシアチブを自信をもって支援できるでしょう。

詳しくは、

risk.lexisnexis.co.jp/corporations-and-non-profits/fraud-and-identity-management

をご覧ください



LexisNexis® Risk Solutions について

LexisNexis Risk Solutions は、データの力および高度な分析を利用して、事業会社および政府組織がリスクを削減し意思決定を改善して世界中の人々に便益をもたらすインサイトを提供いたします。我々は保険、金融、ヘルスケアおよび政府を含む、様々な産業向けにデータおよび技術ソリューションを提供します。当社はジョージア州アトランタに本社を構え、世界中に拠点を有しており、専門家および企業顧客用に情報ベースの分析・意思決定ツールを提供するグローバルプロバイダーRELX (LSE: REL/NYSE: RELX) の一部です。詳細は、www.risk.lexisnexis.com および www.relx.com をご覧ください。

当社の金融サービスは組織の金融犯罪の予防、規制法令遵守の達成、事業リスクの低減、業務効率の改善および収益性の促進を支援します。

¹ 結果は平均値であり新規顧客との複数回に及ぶコンセプト実証(POCs)ならびに既存顧客が受け取った増分利益に基づくものである。結果は地域、顧客のインプットおよび業界により異なる場合がある。

² Statista (2020)

³ DMA Insight: Consumer Email Tracking Study (2015) – UK respondents

⁴ The Inbox Report (2016)

⁵ Digital Insider (2018) – US respondents

LexisNexisが提供するEmailageは、“消費者報告機関(consumer reporting agencies)”が提供しているものではありません。かかる用語は個人信用報告法(15 U.S.C. § 1681, et seq.) (FCRA) にて定義しているものであり、FCRA にて定義する“消費者報告書(consumer report)”を構成するものではありません。Emailage は、FCRAのもとで消費者レポートとしての資格を有するようなクレジット、保険または雇用の適格性もしくはその他目的の適格性を決定する要素として全体または部分的に使用できない場合があります。公的記録情報の性質および出所のため、レポートにて使用される公的記録および商業利用可能なデータソースは誤りを含む場合があります。ソースデータは不正確に報告または入力され、不十分または不正確に処理される時があり、かつ、一般的に瑕疵無き状態ではありません。この製品またはサービスは、公的記録または商業利用可能なデータソースにより提供されたように、データを集計しかつ報告します、そしてこれはデータソースではなく、かつ、データを包括的に編集したものでもありません。いかなるデータも信頼する前に独立して検証を行う必要があります。

LexisNexis および Knowledge BurstのロゴはRELX Inc. の登録商標です。EmailageはEmailage Corp.の登録商標です。その他の製品およびサービスは各社の商標または登録商標である場合があります。Copyright © 2020 LexisNexis Risk Solutions. NXR14567-00-0720-JA-JP